

青少年の自立を 支える会 通信

第10号 平成11年7月25日

発行/青少年の自立を支える会
所在地/宇都宮市南大通り4-2-18
☎・FAX 028(651)0161
発行責任者/伊達悦子
編集責任者/福田雅章

青少年の自立を支える会に新しい“風”を

青少年の自立を支える会「平成11年度定期総会・特定非営利活動法人設立総会」が、5月8日に行われました。会の新しい出発です。この総会では、記念イベントとして、横浜市自立援助ホーム「えんどうホーム」の遠藤浩さんによる講演と、それを受けた形で遠藤浩さんと「星の家」の星俊彦さんの公開対談が行われました。自立援助ホームの姿、その可能性について、とても貴重な問いかけがなされました。多くの方々にぜひとも共有していただきたい内容ですので、ここにその若干のエッセンスを報告させていただきます。

“共感し、共鳴し、共生する”

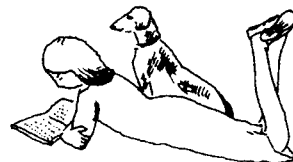
自立援助ホームに暮らす子どもを、その生活の歴史にまで溯って理解することにより、自立援助ホームのあるべき姿が見えてきます。

遠藤さんは次のように述べます。「この子ども達の問題点は生活技術の不獲得や経済的自立ができないところにあるのではない。」「彼等が小さい時に受けた心の傷（発達段階を通過していない・愛着の対象者がいない・養育を受けていない）は、人への不信感、大人への不信感、社会への不信感としてまだまだ彼等の中に根深く残っている。そしてそのことが彼等の無気力さや虚無感、厭世観を生み出し、子どもによってはそれがもっと膨らんで反社会的なものまで心の奥に潜ませている。」と。だから、彼等の「自立」は、相互依存をできる力の獲得（他者を適度に受け入れ、他者に適切に依存しながら生きていける）に、大きな目標が置かれると言います。

星さんは、これまでの経験から、従って自らのなすべきことは、「指導ではない、全人格的な関わりというか、一緒に生きていくということなんだ。」という結論を導き出すのです。

“福祉の常識は社会の非常識！”

星さんも、遠藤さんも、今の福祉の枠を、その常識をはみ出しています。徹底的に子どもの立場に立つことによって、多くの子ども達の置かれている状況に強い疑問を抱いています。そして、自立援助ホームの持つ役割を深く認識し、子どもへの新しい向き合い方を模索しています。だからこそ、次のような痛切な意見が発せられます。



遠藤さんは、「15歳の少年達が、それも家庭基盤のまったくない子ども達が、中学を卒業したからといって、施設を出なければいけないような仕組み、制度を作っていくこと自体、考えられないです。戦後50年たって、これだけ国が豊かになったのに、何故、今だに続けているのでしょうか。これはもう、常識では考えられない。自分の子どもと置き換えたら、絶対考えられない当然なことですが、福祉の世界では通用してしまっているのです。」

星さんは、「形の上でも、養護施設は、時間がくれば職員はいなくなってしまう。悪い意味の仕事にとらわれてしまって、その子がこれから生きていくであろうことや、生い立ちを考えることが難しくなっている。目前の問題に終始してしまうのです。この子はいったいどうやって、これから生きていくのかな…、ということを見ると、小手先の、タバコがどうの、今仕事に行かないからどうの、なんてどうでもいいことです。問題は、そこで本当の信頼関係をつけられるかどうかということなんです。」

“信頼の輪を広げたい”

星さんや遠藤さんの取り組んでいる仕事は、子ども達の抱えている、あるいは強制させられた「大人への不信感」「社会への不信感」「孤独感」「不安感」を“信頼の方へ”“喜びの方へ”少しずつ書き換えていくことの支えです。

子ども達との出会いによって、子ども達との対話によって、子ども達と寝食を共にすることによって、子ども達を受け入れることによって、子ども達の隣にいることによって、そして自分たちの試みに共感し、心を寄せてくれる仲間をたくさん作ることによって、信頼の輪は広がっていきます。

しかし、星さんの試みに共感し、心を寄せた人は知っています。助けられているのは、子ども達だけではなくて、むしろ自分達でもあったということなのです。

青少年の自立を支える会に新しい“風”を、もっと強い“風”を…。

[加藤 悦雄]



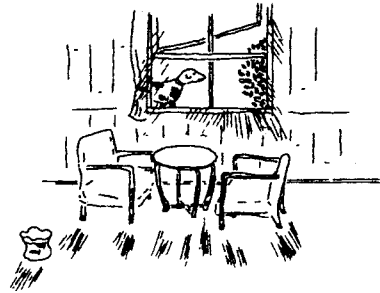
谷川俊太郎「わらべうた」より

ゆっくりゆきらちゃん
ゆっくりおきて
ゆっくりがおと ゆっくりあらい
ゆっくりばんと ゆっくりたべて
ゆっくりぐつを ゆっくりはいた
ゆっくりみらと ゆっくりあるき
ゆっくりけしきを ゆっくりながめ
ゆっくりがっこうの もんまできたら
もうがっこうは おわってた
ゆっくりゆうやけ ゆっくりくれる
ゆっくりゆきらちゃん ゆっくりあわて
ゆっくりうらへ かえってみたら
むすめがさんにな うまれてた

ゆっくりゆきらちゃん

~講演と対談に対する

感想が寄せられています~



遠藤ホームのお話しを聞いて 横松 晃

情熱的で温厚な人柄に触れることができ、よい経験を持てました。感想を報告します。
第1に、遠藤さん自身のパワーと周囲の支援者が共鳴していることは、青少年の自立を支える会と同様であり、聞きながら心の中で「ウン、ウン」と頷き安心することができました。青少年の成長にとってまずまずの環境を確保・提供する力をホームが身につけ大人が成長していくという、子どもとの相互の磨き合いに参加できる幸せを感じました。

第2に、子どもの目の高さとそれを包みこむ大人の広い視野という複眼によるものの見方、しかも徹底して自信をもって進めていくことの大切さを再確認できました。生活をともにする者が練り上げた発信の説得力の前には、表面的な健全育成の掛け声もややかすんでしまうかな、などと思ったりもしました。

“フレイフレー、星の家” 小林 美由紀

今回の遠藤さんの講演の中で、私の心の中に一番突き刺さった言葉が「イノセンス」です。この世に命を受けた子ども達が、自分の意志で選び得ない現実を「このままの形では受け止められない」、「私には責任がない」と訴え、表出する心の在り方をそう定義していました。私も思春期の頃に、「好きで生まれて来たんじゃない」とか「親が子どもを守るのは当然だ」と、自分の無力を両親へぶつけていました。両親の無条件の愛を当然のものと思って育ちました。しかし、その「かけがえのない自分」を見つける力を与えられることなく育った子ども達が、今ここにいます。「ありのままの彼らをしっかり受け止め、甘えさせなければなりません」という言葉は、頭では容易に肯定できますが、それを実践されるスタッフの努力は並々ならぬものです。

星の家で暮らす子ども達の心の核が揺るぎないものになるように、これからも星の家を応援していきたいと思っています。

青少年の自立を支える会に、ご意見をお寄せしたい方は、事務局までお願いします。
どしどし募集しています。✍



会員の声

～私の出会い～



“気張っているところです” 中村 恵美子

統一地方選挙の行われた春、ある議員さんの選挙のお手伝いと、“第1回星の家まつり”のお手伝いを同時にさせていただきました。同じボランティアでも、星の家まつりの時は、とても楽しく、少々の無理でも何とかお役に立ちたい気持ちで一杯でした。この気持ちは一体どこから来るのだろうと思った時、接した会員さん達の素晴らしさにあったと気がきました。会員の皆さんの人柄に触れた時、この方達とのおつき合いが一生続けられたらいいなと感じました。

秋にまた、星の家まつりを行う予定があると伺って、是非また、お手伝いをさせていただきたいと思っています。五十過ぎのただのおばさんですが、できる事は精一杯させていただきますと気張っているところです。皆様、よろしく！！

出逢いって不思議 矢口 永子

同じ自治会に星の家があるのは知っていながら、“星の家ってどんな家”だった私と星さんとの出会いは、子ども会活動を通してでした。

楽しい親子だとは思っていましたが、夏休みのある日、私と星の家をしっかりと結びつけてくれた、美帆さんのびっくり発言があったのです。その発言は後日として、星ホーム長のホッとさせてくれる笑顔と、美帆さんの明るさにひかれ、星の家をささえる会の活動にほんの少しでも自分なりの協力が出来ればと星の家まつりに参加したのです。実行委員の皆さんと、ボランティアの方々の行動力のすごさに驚き、一つの目標に向かって、手を取り合う事の大切さと素晴らしさを知り、その中に自分たち家族もいる充実感を体験することができ、家や学校では得られない“何か”を学べたような気がします。

熱くなるのも、冷めるのも早い私ですが、熱くなりすぎずに、せっかく出逢えた星の家と、ささえる会の皆さんとの輪を大切にして、星の家をささえて行ければと考えています。

♥ニュース速報～感謝とお願い～♥

11月14日(日曜日)に「星の家&あるか～なまつり」を開催することになりました。今回は、ボランティアショップあるか～などのジョイントになります。

前はたくさんの皆様方にご協力をいただき大きな成功をおさめることができました。ありがとうございました。

やはりバザーの品がたくさんあるかどうかが一番のカギになる様です。どうか今回も物品の提供をよろしくお願いいたします。

連絡先は星の家[TEL&FAX028(651)0161]です。詳しい内容は、次回の通信でお知らせ致します。(星)

青少年の自立を支える会 事務局

〒321-0963 宇都宮市南大通り4-2-18

自立援助ホーム「星の家」内 TEL・FAX 028(651)0161

★会員募集中！です。1口5,000円 [郵便為替/宇都宮00140-3-366972 名義/青少年の自立を支える会]

★スタッフ・ボランティア募集！どんなことでもお手伝いいただける方、お待ちしております。